



「ありがとう」から始まる社会性

校長 松井 茂

イギリスの「わらべうた」にこんな歌があります。

いりぐち
心は いりぐちと おなじです
かんたんにすうっと あくのです
ちっちゃな ちっちゃな かぎでね
わすれちゃいけません その中に
ふたつのかぎがあるのです
「ありがとう」と「さあ どうぞ」
(イギリスのわらべうた
木島 始 訳)

子供が言葉を覚え始め、人と関わりをもつようになった頃、お母さんが最初に教える言葉は、この「ありがとう」ではないでしょうか。

・おもちゃを貸してくれて「ありがとう」
・お菓子を分けてくれて「ありがとう」等々家から一歩外に踏み出せば、人と関わる世界が広がっています。子供が外に出て、家族以外の人々と関わることは社会性を育てる上でとても大切です。相手が自分に向ける気持ちや行為を受け取り、それに対して感謝する。その心が「ありがとう」です。肌身離さず、ちっちゃな鍵を持ち歩かせた

いものですね。

社会性の基本は、基本的生活習慣の見直しも大切です。「ありがとう」も「おはようございます」も、あいさつは人々が互いの気持ちを思いやる心からできた言葉です。人と人との心のつながりを実感し、今日の生活の活力を生み出します。そして、社会性を深めていく大切な行動でもあります。人と人との関わりの中で育つ「あいさつ」を中神小では大切にしています。

4月の保護者会では、お忙しい中、ご参会いただきありがとうございました。今年度の学校経営方針として、教職員・保護者・地域も含めた大きな意味で「チーム中小」として、子供たちの健やかな成長を共に育ててまいりたいと思います。

学校としては、次のような「合い言葉」を基に本校の教育を大切にしていきます。

- か・・・かかわりを大切にした教育を行います。
- し・・・しっかりと身に付けます（中神小の学習や生活ルール）
- こ・・・言葉を大切にした教育を行います。（いじめ、差別・偏見を許さない）
- い・・・いつも元気な子を育てる教育を行います。

スクールゾーン車両通行自粛呼びかけ重点運動への



ご協力ありがとうございました。

4月10日（月）～14日（金）は保護者の方、17日（月）～21日（金）は地域の方がそれぞれご協力いただき、実施することができました。おかげで、スクールゾーンへの車両の乗り入れは殆どありませんでした。毎年、皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。